

平成28年度 東大和市行政評価推進会議における最終評価

No.	仕事の内容 【主管課】	① 総事業費 ② 事業費 (人件費除く) ③ ②のうち 一般財源	仕事の目的		開始 年度	外部評価結果				意見	コスト	成果	外部評価後 「今後の方向性について」 主管課再評価	最終評価
			どのような状態に したいですか	そのために何を しましたか		事業のやり方								
						拡大の 方向	現状 維持	廃止に 向け縮 小	休止 ・ 廃止					
1	宿泊施設使用料負担軽減事業 【学校教育課】	①11,242,600 ②10,419,300 ③10,419,300	修学旅行等の宿泊費の一部補助が受けられる	保護者の負担を軽減するため、小学校5・6年生及び中学生の修学旅行等の参加者に、宿泊費の一部補助を行う。		1	1	2	1	・中学3年生が約6万円かかるのに対して、補助は5,100円。補助金額はどうか。 ・無償化するのであれば中学校3年生に限定することで保護者にはインパクトがある。2,200円程度の補助はまとめて、生徒全体に有効なことに活用してはどうか。	維持1 減少4	向上2 維持3	保護者が負担軽減の効果を実感できるような方法の検討を行う。	修学旅行等宿泊費の補助は、保護者の負担軽減を図るため有効な事業である。 意見の趣旨を踏まえ、保護者が負担軽減の効果を実感できるような具体的な方法について、早期に検討し、平成29年度までに方向性を決め、予算との連動を図る。
2	昭和病院企業団事務 【健康課】	①98,067,600 ②96,421,000 ③96,421,000	市民が高度専門医療を受けられる	分賦金の支払、広報掲載、実績確認等	S3	0	1	2	0	・昭和病院が経営者として、構成市の市民にいかにもメリットを出すかということだと思う。 ・分賦金1億円は大きい。減らす努力が必要。	減少に向けて 維持3	向上1 維持2	・昭和病院利用における構成市市民のメリットについての情報提供及び周知について充実させていく。 ・企業団全部適用後の経営状態等昭和病院の運営全般について市民への情報提供を検討していく。	公立昭和病院は、地域医療の重要な役割を担っており、構成市として支えていく必要がある。 今後は、昭和病院の役割と経営状況、構成市の市民のメリット等について、市民への情報提供を行うことで、必要性についてご理解いただくとともに、市民の利便性向上ならびに更なるメリットの向上について昭和病院に働きかけていく。
3	老人クラブ育成事業 【高齢介護課】	①6,987,823 ②5,328,223 ③2,302,223	社会参加をしている自覚や喜び、いきがいを 見出す。	老人クラブ連合会及び単位老人クラブに対し、社会活動促進を目的とした市補助金を交付する。それにより、会員同士の交流やクラブ活動の活性化が図られ、高齢者福祉の向上を図ることができる。	S36	0	1	2	0	・公民館活動では実態として60歳以上の人が多いが、補助金は出ない。 ・高齢者が集まって活性化することは良い。 ・組織運営等について、市が支援しないと、高齢者だけでは長続きしない。	維持1 減少2	向上3	老人クラブの目的や活動について、広く市民に普及啓発を図っていくとともに、活動内容がより充実し、会員数が増加するよう、助言や支援を行っていく。	老人クラブは、60歳以上の市民が生きがいと健康づくりのための多様な社会活動を行うことにより、明るい長寿社会作りに役立っている。この活動について、広報紙を活用するなど広く市民に普及啓発を図っていくとともに、活動内容がより充実し、会員数が増加するよう、助言や支援を行っていく。
4	中学校部活動大会参加費等補助金事業 【指導室】	①3,885,362 ②3,473,712 ③3,473,712	スポーツ、文化両面において、部活動の活性化と大会参加に向けた意欲的な部活動への取り組みを促す。	中学校部活動においてスポーツ、芸術面で特に優秀な成績を収め、地域代表として全国大会等に参加する生徒の交通費や宿泊費等を補助するものである。補助する範囲として、大会要項に定められた経費に、実際に競技に参加する部員数を乗じた金額を上限として、予算の範囲内で対応している。		1	0	1	4	・不公平な制度という感じではない。 ・大きな大会の参加費のみに絞ったほうが良い。 ・近隣への交通費等は保護者負担でよいのではないかな。	増加1 維持3 減少2	向上6	ほとんどの生徒が部活動に参加している中、通常活動分の費用を無くす、もしくは削減するという事は、難しい。また、上位大会へ進出した場合の交通費や宿泊費等も補助できなくなると生徒の部活動への意欲や保護者負担軽減を考えた場合、やはり廃止や縮小は考えにくい。現状の経費を維持しつつ、学校の意見を聞きながら、効果的な補助となるよう平成29年度に検討する。	部活動への意欲的な取組みにつながる大会への参加を支援するため、大会参加費等の保護者負担軽減を図る必要がある。 負担軽減の方法について、どのような補助のあり方が効果的であるか、学校と調整しながら、早期に検討し、平成29年度までに制度の再構築について方向性を決め、予算との連動を図る。
5	シルバー人材センター運営・補助事業 【福祉推進課】	①38,251,950 ②37,017,000 ③25,720,000	高齢者の就労の場の確保に結び付ける。	公益社団法人東大和市シルバー人材センターに対して、運営に係る経費を補助する。	S54	1	1	2	2	・公益社団法人になったことをきっかけに自立経営を目指すのか。 ・公共の業務が多いので、市が直接発注しても出来るのではないかな。 ・仕事をしたくても雇用に結びつかない高齢者がいるので、大切な事業である。	維持2 減少4	向上6	シルバー人材センターの運営は高齢者の就業機会を提供する重要な場であると考えているため、市からの補助事業体制については現況では現状維持とし、効果的な事業体制が図れるよう指導していくものとする。	シルバー人材センターは、高齢者の就業機会を提供するとともに生きがい対策として、重要な場であると考えているため、市からの補助については現時点では現状維持とする。 しかし、経営努力を促すための効果的な事業運営について指導していくものとする。
6	ふれあいのまちづくり事業費補助金交付事務【社会福祉協議会運営・補助事業】 【福祉推進課】	①7,899,690 ②7,076,390 ③3,538,195	地域において見守りや声かけをすることにより、ひとり暮らしの高齢者等の孤立化を防ぐ。	東大和市社会福祉協議会が運営するふれあいのまちづくり事業の運営に係る費用の一部を補助する。 ふれあいのまちづくりの事業内容 ・見守り・声かけ活動 ・ふれあいなごやかサロン	H8	3	1	2		・見守りぼっくす事業と一本化したらい。両事業費の3,500万円を効果的に使って欲しい。 ・見守りをしていく必要性はある。 ・社会福祉協議会へ人件費を補助することで、市として何をやってもらうのか、全体を見る必要がある。	増加2 維持2 減少2	向上6	主要事業である見守り・声かけ活動については、ボランティアに基づいた住民相互で支えあうという地域福祉の中核としての位置づけがあるため、廃止に向けた事業縮小は難しい。限られた補助金の中で、事業の効率化に向けた補助体制の構築を社会福祉協議会と図る必要があると考える。	主要事業である見守り・声かけ活動については、ボランティアに基づいた住民相互で支えあうという地域福祉の中核としての位置づけがあるため、廃止に向けた事業縮小は難しい。限られた補助金の中で、事業の効率化に向けた補助体制の構築を社会福祉協議会と図っていく。

※外部評価結果欄の数字は、方向性を示した委員の人数です。(合計数＝出席人数)